



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場会社名 市光工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7244 URL <http://www.ichikoh.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) オードバディ アリ

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 井上 誠一郎

TEL 0463-96-2094

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	39,062	△18.0	342	△69.0	678	△48.1	△1,883	—
23年3月期第2四半期	47,629	15.2	1,104	—	1,307	—	740	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △2,191百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 70百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△19.64	—
23年3月期第2四半期	7.72	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	66,556	13,493	16.9
23年3月期	68,538	15,684	19.4

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 11,269百万円 23年3月期 13,264百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

現時点で、期末日における配当予想額は未定であります。

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	87,400	△5.6	2,500	△17.1	3,000	△23.9	270	△56.1	2.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想については、本日(平成23年11月9日)公表いたしました「平成24年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正並びに特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照下さい。

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 一社 (社名) 、除外 1社 (社名) イチコウ・ミツバ・インク  
詳細はP.3「2. サマリー情報(その他)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご参照下さい。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
詳細はP.3「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照下さい。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	96,036,851 株	23年3月期	96,036,851 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	124,113 株	23年3月期	122,640 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	95,913,824 株	23年3月期2Q	95,917,017 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 連結業績予想については、本日(平成23年11月9日)公表いたしました「平成24年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正並びに特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照下さい。
2. 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。
3. 平成24年3月期の期末配当予想額は、現時点で未定であります。配当予想額は、開示が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災によるサプライチェーンの寸断等の影響を受け、生産活動が停滞する厳しい状況となりました。後半に入り回復の傾向が見られましたが、円高の長期化による企業収益への影響等、先行きの不透明な状況が続いております。一方、世界経済においては、欧州では債務問題が深刻化し、米国では景気減速感が強まってまいりました。また、新興国においては堅調な成長が続くものの、中国における景気停滞懸念などの不安定要素があり、予断を許さない状況となりました。

当社グループが属する自動車業界におきましては、サプライチェーンの復旧等により生産が回復してきているものの、震災による影響が大きく、当第2四半期連結累計期間における国内自動車生産台数は前年同期比で18.5%の減少となるなど、厳しい状況となりました。

このような環境の下、当社グループは、強固な企業体質を目指し、利益確保を最優先に、より一層の経費低減をはじめ、あらゆる合理化にグループ一丸となって取り組んでまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高は39,062百万円（前年同期比18.0%減）、営業利益は342百万円（前年同期比69.0%減）、経常利益は678百万円（前年同期比48.1%減）となりました。また、子会社清算損757百万円、製品保証引当金繰入額723百万円、適格年金制度の廃止に伴う退職給付制度終了損587百万円、早期退職優遇制度の実施に伴う退職特別加算金192百万円を特別損失に計上したこと等により、四半期純損失は1,883百万円（前年同期は四半期純利益740百万円）となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

## ①自動車部品事業

自動車部品事業におきましては、後半に回復の傾向が見られたものの、震災による影響が大きく、前年同期比で自動車生産台数が減少したことから、売上高は34,184百万円（前年同期比19.0%減）、営業利益は459百万円（前年同期比61.2%減）となりました。

## ②用品事業

用品事業におきましては、売上高は3,359百万円（前年同期比5.9%減）、営業損失は129百万円（前年同期は営業利益6百万円）となりました。

## ③その他事業

その他事業におきましては、売上高は3,813百万円（前年同期比20.5%減）、営業利益は76百万円（前年同期比82.0%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は66,556百万円となり、前連結会計年度末比1,981百万円の減少となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少933百万円、受取手形及び売掛金の増加2,180百万円、その他の流動資産の減少1,088百万円、有形固定資産の減少1,746百万円、投資有価証券の減少501百万円等であります。

負債は53,063百万円となり、前連結会計年度末比209百万円の増加となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加693百万円、短期借入金の減少323百万円、未払費用の増加743百万円、製品保証引当金の増加707百万円、リース債務の減少1,155百万円、長期借入金の減少576百万円等であります。

純資産は13,493百万円となり、前連結会計年度末比2,191百万円の減少となりました。主な要因は、四半期純損失1,883百万円による利益剰余金の減少等であります。なお、自己資本比率は16.9%（前連結会計年度末は19.4%）となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は11,766百万円となり、前連結会計年度末比939百万円の減少となりました。

営業活動により獲得した資金は1,639百万円となりました。主な要因は税金等調整前四半期純損失1,724百万円、減価償却費2,905百万円、売上債権の増加2,438百万円等であります。

投資活動により獲得した資金は133百万円となりました。主な要因は有形固定資産の取得による支出1,693百万円、有形固定資産の売却による収入1,864百万円等であります。

財務活動により使用した資金は2,576百万円となりました。主な要因は長期借入金の返済による支出2,578百万円、長期借入れによる収入2,000百万円、リース債務の返済による支出1,510百万円等であります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきまして、東日本大震災からの復興が進み、自動車生産の回復が当初予想を上回ると見込まれることから、平成23年8月3日に公表いたしました通期業績予想値を修正しております。詳細につきましては、平成23年11月9日発表の「平成24年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修

正並びに特別損失の計上に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及びに合理的であると判断する一定の前提に基づいております。今後、円高の長期化による影響、欧州の債務問題、タイにおける洪水の影響等、景気の先行きは予断を許さない状況が続くものと思われまます。実際の業績は、様々な要因により異なる結果となる可能性がありますので、ご承知おきください。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間において、特定子会社であるイチコウ・ミツバ・インクは、清算したことにより連結の範囲から除外し、第1四半期連結会計期間よりエース工業株式会社及びP I A A C O , . U S Aは、重要性が増したため連結の範囲に含めております。これにより、連結子会社の数は13社となりました。

また、第1四半期連結会計期間において、健光實業股份有限公司は、清算したことにより持分法適用の範囲から除外しております。これにより、持分法適用関連会社の数は2社となりました。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### (税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

#### 追加情報

#### (会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,717	12,783
受取手形及び売掛金	13,648	15,828
有価証券	8	8
商品及び製品	3,177	3,539
仕掛品	1,170	1,095
原材料及び貯蔵品	2,243	2,082
繰延税金資産	80	79
その他	3,513	2,424
貸倒引当金	△223	△194
流動資産合計	37,336	37,646
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,099	7,789
機械装置及び運搬具(純額)	5,450	5,030
工具、器具及び備品(純額)	1,346	1,135
土地	3,968	3,957
リース資産(純額)	4,870	3,725
建設仮勘定	763	1,114
有形固定資産合計	24,499	22,752
無形固定資産		
投資その他の資産	286	274
投資有価証券	3,822	3,320
繰延税金資産	151	133
その他	2,471	2,457
貸倒引当金	△28	△28
投資その他の資産合計	6,416	5,883
固定資産合計	31,202	28,910
資産合計	68,538	66,556

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,454	13,147
短期借入金	2,455	2,131
1年内返済予定の長期借入金	6,702	7,135
リース債務	2,610	2,162
未払法人税等	375	146
未払費用	1,574	2,317
製品保証引当金	1,496	2,204
役員賞与引当金	15	5
環境対策引当金	1,604	1,243
その他	1,337	1,569
流動負債合計	30,627	32,064
固定負債		
長期借入金	11,720	10,709
リース債務	2,457	1,750
退職給付引当金	7,321	7,680
資産除去債務	223	223
繰延税金負債	73	44
その他	431	590
固定負債合計	22,227	20,999
負債合計	52,854	53,063
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,929	8,929
資本剰余金	2,708	2,708
利益剰余金	4,117	2,354
自己株式	△30	△30
株主資本合計	15,725	13,962
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△135	△497
為替換算調整勘定	△2,325	△2,195
その他の包括利益累計額合計	△2,460	△2,692
少数株主持分	2,419	2,223
純資産合計	15,684	13,493
負債純資産合計	68,538	66,556

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	47,629	39,062
売上原価	40,234	33,069
売上総利益	7,395	5,993
販売費及び一般管理費	6,291	5,650
営業利益	1,104	342
営業外収益		
受取利息	39	37
受取配当金	56	49
固定資産賃貸料	166	161
持分法による投資利益	45	209
受取ロイヤリティー	105	50
受取技術料	122	134
その他	140	217
営業外収益合計	675	860
営業外費用		
支払利息	319	266
固定資産賃貸費用	48	47
為替差損	36	145
その他	68	64
営業外費用合計	473	524
経常利益	1,307	678
特別利益		
固定資産売却益	48	18
投資有価証券売却益	36	—
その他	—	0
特別利益合計	84	18
特別損失		
固定資産処分損	29	35
製品保証引当金繰入額	—	723
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	215	—
退職特別加算金	—	192
退職給付制度終了損	—	587
子会社清算損	—	757
関係会社清算損	—	125
特別損失合計	245	2,422
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,146	△1,724
法人税等	254	110
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	891	△1,835
少数株主利益	151	47
四半期純利益又は四半期純損失(△)	740	△1,883



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	891	△1,835
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△544	△363
為替換算調整勘定	△229	△150
持分法適用会社に対する持分相当額	△48	157
その他の包括利益合計	△821	△356
四半期包括利益	70	△2,191
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△25	△2,115
少数株主に係る四半期包括利益	95	△76

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,146	△1,724
減価償却費	2,719	2,905
製品保証引当金の増減額(△は減少)	198	707
退職給付引当金の増減額(△は減少)	72	348
環境対策引当金の増減額(△は減少)	—	△360
受取利息及び受取配当金	△95	△86
支払利息	319	266
為替差損益(△は益)	8	—
持分法による投資損益(△は益)	△45	△209
有形固定資産売却損益(△は益)	△19	16
子会社清算損益(△は益)	—	757
関係会社清算損益(△は益)	—	125
売上債権の増減額(△は増加)	882	△2,438
たな卸資産の増減額(△は増加)	△247	210
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,631	890
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△126	885
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	215	—
その他	298	△155
小計	3,695	2,138
利息及び配当金の受取額	95	86
利息の支払額	△319	△266
法人税等の支払額	△515	△319
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,955	1,639
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△90	△718
定期預金の払戻による収入	100	712
有価証券の取得による支出	△41	△6
有価証券の売却による収入	40	6
有形固定資産の取得による支出	△3,539	△1,693
有形固定資産の売却による収入	2,658	1,864
投資有価証券の取得による支出	△10	△9
投資有価証券の売却による収入	107	—
貸付金の回収による収入	13	—
その他	△157	△22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△919	133

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△300	△382
長期借入れによる収入	87	2,000
長期借入金の返済による支出	△2,237	△2,578
自己株式の取得による支出	△0	△0
少数株主への配当金の支払額	△107	△104
リース債務の返済による支出	△1,195	△1,510
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,752	△2,576
現金及び現金同等物に係る換算差額	△82	△178
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,799	△982
現金及び現金同等物の期首残高	10,332	12,706
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	—	42
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,532	11,766

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	自動車部品	用品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	42,089	3,564	45,653	1,975	47,629
セグメント間の内部売上高 又は振替高	125	5	131	2,818	2,950
計	42,214	3,570	45,785	4,794	50,579
セグメント利益	1,183	6	1,190	41	1,231

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業用ロボット製造事業、自動車部品用原材料輸出入事業及びグループ内福利厚生事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,190
「その他」の区分の利益	41
セグメント間取引消去	△38
のれんの償却額	△89
四半期連結損益計算書の営業利益	1,104

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	自動車部品	用品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	34,104	3,358	37,462	1,599	39,062
セグメント間の内部売上高 又は振替高	79	1	80	2,213	2,294
計	34,184	3,359	37,543	3,813	41,356
セグメント利益又は損失(△)	459	△129	329	76	405

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業用ロボット製造事業、自動車部品用原材料輸出入事業及びグループ内福利厚生事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	329
「その他」の区分の利益	76
セグメント間取引消去	△57
負ののれんの償却額	△4
四半期連結損益計算書の営業利益	342

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。